
赤 潮 情 報(定期赤潮調査結果)

鹿児島県水産技術開発センター
 平成 2 9 年 4 月 1 3 日

鹿児島湾 赤潮情報 No.1

[1] 4月12日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

調査海域で有害種は確認されませんでした。また、8日に垂水市海潟地先で増殖が確認(最高212細胞/mL)されていたセラチウム属は最高22細胞/mL(調査定点②)でした。

珪藻類については、ほとんどない状況でしたが、湾奥部で微細藻類が最高1,400細胞/mL確認されました。

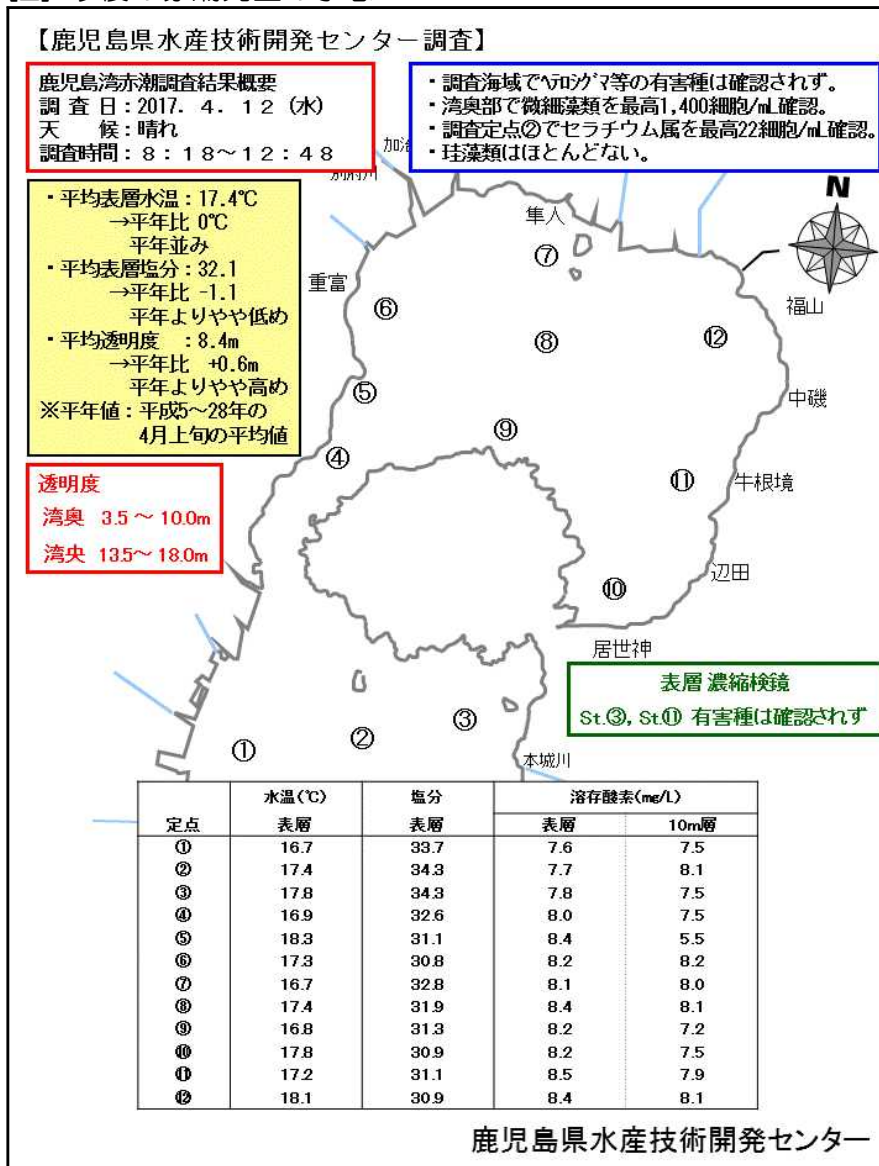
(2) 海況

表層水温は湾中部で16.7~17.8℃、湾奥部で16.7~18.3℃で平年並み。塩分は30.8~34.3と平年よりやや低め、透明度は3.5~18.0mで平年よりやや高めとなっています。

水温：平均 17.4℃ 湾奥部 17.4℃ 湾中部 17.3℃
 塩分：平均 32.1 湾奥部 31.5 湾中部 34.1
 透明度：平均 8.4m 湾奥部 5.7m 湾中部 16.5m

(平年値は平成5~28年の4月上旬の平均値)

[2] 今後の赤潮発生の予想



鹿児島湾では、3月13日にヘテロシグマ アカシオの赤潮注意報が発出されていましたが、昨日の調査では調査全域で確認されなかったことから、同日付け赤潮注意報(ヘテロシグマ アカシオ)は解除します。

なお、水温の上昇に伴い、プランクトンの増殖が活発になる赤潮シーズンに入っており、競合種である珪藻類はほとんどない状況であることから、今後有害種が増殖する可能性があります。

各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に検鏡等を継続し、十分な注意をお願いします。

(次回調査は4月下旬を予定)

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashi/o/i/index.shtml>

赤潮情報(PC用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashi/newHP/index.html>

